報道関係者各位　／　NEWS RELEASE

2026 年 11 月 12 日

JAOS 留学総合研究所（JSARI）

「留学の日」に『JAOS 留学白書 2026』を創刊

日本人の海外留学の現状と世界の国際教育動向を多角的に分析

一般社団法人海外留学協議会（JAOS）が設立した JAOS 留学総合研究所（JSARI／留学総研）は、2026 年 11 月 12 日の「留学の日」に、日本人の海外留学の現状と国際教育を取り巻く動向をまとめた『JAOS 留学白書 2026』を創刊しました。

本白書は、JAOS が蓄積してきた日本人海外留学に関する統計、文部科学省・JASSO 等の公表統計、OECD 等の国際データ、研究所独自の調査をもとに、日本人の海外留学の実態と今後の課題を横断的に整理したものです。国内外の政府・行政機関、教育機関、留学関連団体、研究者、報道機関等の政策・実務判断に資する基礎資料として提供します。



『JAOS 留学白書 2026』表紙

創刊の背景と目的

日本人の海外留学はコロナ禍からの回復が進む一方、留学費用の上昇、円安、留学先国の政策変更、進学経路の多様化などの環境変化に直面しています。学位取得留学、交換留学、語学留学、高校留学、短期研修、教育旅行など、留学形態によって統計の対象や定義が異なるため、複数の資料を比較しながら全体像を把握することが求められています。

JAOS 留学総合研究所は、国内外のデータと独自調査を横断的に分析し、留学機会の拡大や国際教育の質の向上に向けた議論を支えることを目的として、本白書を刊行しました。今後も継続的な刊行を目指します。

白書の主な内容（全 5 章）

第 1 章　日本人の海外留学の現状と動向　JAOS の日本人海外留学者数調査と文部科学省・JASSO 等の統計を比較し、規模、形態、留学先、回復状況などを整理します。

第 2 章　海外学位留学者の意思決定と進学経路　独自調査をもとに意思決定、進学経路、情報収集、経済的制約、支援ニーズを分析します。

第 3 章　OECD データから見る世界の国際教育動向　国際統計を通じて世界の高等教育における留学生移動や主要受入国の動向を捉えます。

第 4 章　「出国しない国内教育」の拡大　国際バカロレア（IB）認定校など国内で国際的な教育課程を学ぶ機会の広がりや、海外大学進学につながる国内の教育・準備課程、海外進学費用と為替の影響を取り上げ、渡航を伴う留学と国内の国際教育との接点を考察します。

第 5 章　今後の海外留学と国際教育の発展に向けた提言　留学機会の拡大、経済的支援、情報アクセス、留学費用の保全、専門人材の育成・配置等を提言します。

11 月 12 日「留学の日」に刊行する意義

11 月 12 日は、明治時代に津田梅子、大山捨松ら日本初の女子国費留学生 5 人が米国に向けて出発した日に由来する「留学の日」です。JAOS はこの記念日の普及・啓発に取り組んでおり、白書の創刊を通じて海外で学ぶ意義と、次世代の国際教育のあり方を考える契機とすることを目指します。

発行概要

書名：JAOS 留学白書 2026（JAOS Study Abroad White Paper 2026）

発行日：2026 年 11 月 12 日（留学の日）

発行：JAOS 留学総合研究所（JSARI）

形式・言語：PDF　日本語、英語

入手方法：　右の QR から登録フォームに行き登録送信後に無料ダウンロードリンクが送られてきます。

JAOS 留学総合研究所について

JAOS 留学総合研究所（JSARI）は、一般社団法人海外留学協議会（JAOS）が創立 35 周年を機に 2026 年 4 月 20 日に設立した、留学・国際教育に特化した研究機関です。独立した調査・分析と情報発信を通じ、政府機関や教育機関等の意思決定に資する知見の提供を目指します。

本件に関するお問い合わせ

JAOS 留学総合研究所（JSARI）
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 6-46 ローベル神楽坂 7F
ウェブサイト：https://www.jaos.or.jp/jsari
所長：星野　達彦　　hoshino@jaos.or.jp